

竹造 — TAKEZO — 地域でつくりあげる行事

活動場所：嵯峨嵐山地域を中心とした京都市近郊

活動時期：平成 8 年 4 月～

発表団体

竹造
(嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学・学生サークル)



連携メンバー

嵯峨野保勝会
嵯峨野地区の地域の方々
KURUKURU、太秦・ひよっこ踊りの会、NPO 法人フラワー・サイコロジ協会
嵐山小学校、嵯峨小学校、広沢小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、右京区児童館
京都桂川園、ホップ松村、御所ノ内ホームときわ、白光、高齢者福祉施設 西院、
株式会社ベネッセスタイルケア・グランダ山ノ内

活動内容

右京区の嵯峨野地区は、伝統的建造物群街並み保存地区に指定されるなど観光地として栄えていたが、年々観光客が減少している。地元では地域活性化のため、嵯峨野保勝会、瀬戸内寂聴氏が毎年 8 月下旬に行う化野念仏時の千灯供養に合わせて、露地行灯を灯すイベントを企画・実施していた。さらなる賑わいを実現したいと本大学へ相談があり、平成 8 年から当時の美術学科が参画し、竹を用いた大きな行灯を作成したことが活動の始まりとなった。

「愛宕古道街道灯し」では、卒業生・学生サークル「竹造」が大型の燈籠を制作し、嵯峨嵐山地域の小中学校と連携して制作した提燈とともに、愛宕神社の一之鳥居から嵯峨釈迦堂までの旧愛宕街道に飾り、地域の地蔵盆における恒例イベントとなっている。

この他に、夏の「京の七夕」、冬の「京都・嵐山花灯路」に参加し、これらの活動を知った団体から行灯制作、イベントへの参加依頼をいただいて、2016 年は「宙フェス」、「新町祭」で行灯の制作に携わり、活動が広がっている。

取組の成果・活動で工夫した点

学生一人一人が自主的に参加することで成り立っている活動であるため、夏の「愛宕古道街道灯し」に向けた活動中は、進捗報告・ミーティング内容を「竹造ノート」に毎日記録し、来ることができなかった人も状況を把握し、制作に取り組みやすい環境になるよう心掛けている。

地域の小・中・高等学校で行灯制作のワークショップを行い、「地域でつくりあげる」イベントとなるように貢献した。また、オリジナル T シャツや手拭いを作成・販売し、売上げにより祭りの運営を支援している。

多くの人数で制作を行い、地域の方々と協力してひとつの行事を成功させることで、大きなやりがいを感じることが出来た。

連携メンバー・役割

嵯峨野保勝会	行事企画、運営
嵯峨野地区の地域の方々	電気行灯用の電力提供、各種協力
KURUKURU、太秦・ひよっこ踊りの会、NPO 法人フラワー・サイコロジ協会	運営協力
嵐山小学校、嵯峨小学校、広沢小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高校、右京区児童館	ワークショップへの参加を通じた行灯制作協力
京都桂川園、ホップ松村、御所ノ内ホームときわ、白光、高齢者福祉施設 西院、株式会社ベネッセスタイルケア・グランダ山ノ内	行灯制作協力

今後の課題・目標

◆今後の課題

「愛宕古道街道灯し」は毎年多くの観光客が訪れるが、運営側の人数は年々減少傾向にあり、活動地域との連携をより一層充実することが必要となっている。どのようにして地域との協力・交流を図るべきかが課題である。

人数の多い団体であるがため、それぞれが「誰かがやってくれるだろう」と考え、任せがちになっている。一人一人の意識の向上が必要である。

◆目標

地域及び大学内において、本団体の活動内容について掲示板や大学内での貼り紙・SNS の活用などにより、認知度向上を図る。

サークル「竹造」に所属していない学生・大学近辺にお住まいの方々が、気軽に行灯制作に携わることが出来るような新たな体制の確立を目指す。

